



銀杏 《 愛校 自主自律 》

～生徒一人一人が主役を果たす、「生徒が育つ学校」の創造～

宮内中学校 学校だより

宮中生の自覚と誇りを持って戦い抜いた 東置賜地区総合体育大会での活躍が光り輝く

去る6月18日(土)・19日(日)の2日間に渡り、地区総体が行われました。どの会場でも、各校との熱い戦いが繰り広げられ、宮中生の自覚と誇り、そしてこれまで練習してきた成果を存分に発揮した大会となりました。また、新型コロナの感染対策により、競技種目や会場等によって応援や観戦の制限もあり、保護者の皆様にはご迷惑をおかけしましたが、無事に終了することができたことに感謝と御礼を申し上げます。

7月23日(土)から行われる県中総体への出場権を獲得したチーム・選手の皆さん、そして、7月16日(土)に行われる地区吹奏楽コンクールに出場する吹奏楽部の皆さんの更なる活躍を期待しています。



【団体】

- 優勝** ソフトテニス男子 (県大会進出)
ソフトテニス女子 (県大会進出)
- 第2位** 陸上男子低学年 4×100mR (丹湊平・松浦悠真・佐藤惺埜・鈴木尊也) (県大会進出)
バスケットボール女子
- 第3位** ソフトボール (県大会進出)
野球
バスケットボール男子
バレーボール男子

【個人】

- 優勝** ソフトテニス男子個人 佐々木優輔・鈴木蛭助ペア (県大会進出)
ソフトテニス女子個人 鈴木琴菜・山田蒼子ペア (県大会進出)
- 第2位** 陸上1年男子100m 丹湊平 (県大会進出)
ソフトテニス男子個人 榮 裕晟・小川裕大ペア (県大会進出)
ソフトテニス女子個人 齋藤由梨亜・榮ひとみペア (県大会進出)
- 第3位** 陸上共通男子砲丸投 山口哩夢 (県大会進出)
ソフトテニス女子個人 桑原莉乃・安部蒼生ペア (県大会進出)
陸上2年男子100m 鈴木尊也
陸上共通男子800m 佐藤篤人
陸上共通男子走幅跳 加藤詩音
ソフトテニス女子個人 半田妃良莉・梅木咲紅詩ペア



政治の世界にも興味を高めています！ もうすぐ行われる参院選に向けて・・・

7月10日（日）に、第26回参議院議員通常選挙が行われます。18歳になれば、選挙権が与えられますが、今から政治の世界に興味を持ちながら、自分たちの暮らしについて考えることは大切なことと思います。

そのような中、2年生の尾形輝喜さんの作品が「2022 参院選山形新聞公募入選標語」に選ばれ、6月15日（水）に山形市のメディアセンターにおいて表彰式が行われました。また、6月25日（土）付けの山形新聞にも、顔写真と共に作品・コメントが掲載されました。大変すばらしい学びの成果であったと思います。おめでとうございます！！

7月の主な予定

- 1日（金）：宮中校区児童生徒
連絡協議会（Web）
：生徒会専門委員会
- 6日（水）：チャレンジテスト国語
- 7日（木）：校内授業研究会
- 12日（火）：宮中校区授業研究会
- 13日（水）：学校運営協議会
：吹奏楽部壮行式
：チャレンジテスト数学
- 15日（金）：3年進路等説明会
：1年アンガーマネジメント
講習会
- 16日（土）：地区吹奏楽コンクール
- 21日（木）：大掃除
：県中総体壮行式
- 23日（土）～25日（月）
：県中総体
- 25日（月）：生徒休業日
- 26日（火）：1学期終業式
※2学期始業式（8.17（水））

将来の山形創る YOI権者



2022.6.25 付け 山形新聞より

共育ネットワークあいさつ運動

よろしくお願いたします！！

急激に夏の暑さが厳しくなってきました。そんな中でも、宮中生のさわやかな挨拶が地域に元気と潤いを与えてくれているものと思っています。

7月11日（月）～15日（金）の期間、あいさつ運動が行われますが、委員の皆様、どうぞよろしくお願いたします。

朝から暑い陽射しが照り付けていますので、熱中症等にくれぐれもお気をつけいただきながらお願いたします。

生徒の皆さんも、いつものようにさわやかな笑顔と言葉のキャッチボールをお願いします。



【校長の独り言・・・】

今、NHKで、「ちむどんどん」という番組を放映しています。沖縄生まれの主人公のお話ですが、今年は、沖縄が本土に復帰して五十年を迎えることから制作されているのだらうと思います。

数年前、市の事業で市内の中学生と一緒に、沖縄県の糸満市を訪問する機会に巡り合いました。糸満市の中学生との交流や現地施設の見学など、大変貴重で充実した研修をさせていただきました。

その時は、「ゆきえねえねえ」というバスガイドさんにたくさんお世話になりました。研修が終わってバスに戻ると、必ず「みんなが感じたことをシェアしよう」と声をかけてくださり、見学の都度、心の中に湧き出したいろいろな想いを言葉にして紡いでくれました。もちろん、バスは大盛り上がりです。

また、「ガマ」と呼ばれる自然にできた洞窟見学では、真っ暗な中、戦火を逃れるため何日も声も出せずに、ただじっとしているだけで、何もわからず声を出してしまう赤ちゃんの口をふさいでしまわなければならぬ苦悩やその時の状況に触れた私たちの心の動揺に、優しく寄り添ってくださいました。

「ちむどんどん」を観ていると、そんな「ゆきえねえねえ」の住む沖縄にまた行ってみたいなあという思いにかられます。「ゆきえねえねえ」元氣かなあ・・・

